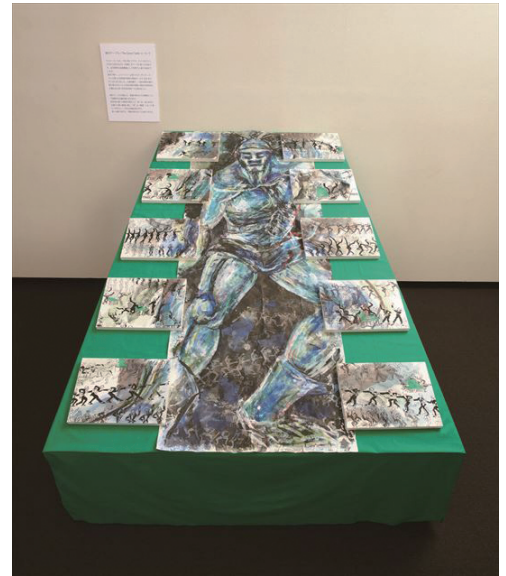


KUNST ARZT では、2年ぶり5度目となる、山羽春季の個展を開催します。山羽春季は、舞や演劇、フィギュアスケーターの動きを動画のコマ送りのように描き出す日本画家です。脳内再生したイメージから、即興的に描いていきます。近年は、祭事や信仰にまつわる活動機会に恵まれ、その経験を生かした作品を展開しています。本展は、戦時下の状況を反映し、ドイツの振付師クルト・ヨースによる1930年代の和平交渉の無益さを描いた反戦のためのバレエ「The Green Table」をモチーフに展示構成します。

(KUNST ARZT 岡本光博)



The Green Table  
2023

#### 経歴

1995 京都生まれ  
2017 カッセル美術大学交換留学（ドイツ）  
2018 京都精華大学芸術学部絵画コース日本画学科 卒業（京都）

#### 主な個展

2018 「Frieden」 KUNST ARZT（京都）  
2019 「妖精の丘」 KUNST ARZT（京都）  
2020 「Orfeo in the underground」 KUNST ARZT（京都）  
2021 「精霊達は踊る」 KUNST ARZT（京都）  
2022 「山羽春季 日本画展 精霊たちは踊る」 阪神梅田8階（大阪）

#### 主なグループ展他

2019 「京都市新鋭選抜」 京都府文化博物館（19'、21'、23）（京都）  
2021 「WHAT is Art ? 展」 What CAFE（東京）  
2022 「京美術」 KUNSTARZT（京都）

2023年9月2日（土）から10日（日）

12:00 から 18:00 月曜日休み

会 場：KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティスト・ステートメント/ 展覧会コンセプト

The Green Tableという反戦のためのバレエをモチーフに展覧会をします。去年は桂六斎念佛を始め、できるだけ舞踊を観に行く機会を増やしました。バレエ、フィギュアスケート、神事にまつわる民族舞踊など、生の公演をみて、それぞれの踊りが様々な文化的背景をもって作られたのを強く感じました。おめでたいハレの踊りと、切実で社会的なテーマを込めた舞踊と、異なったアプローチの公演を観ました。今回の個展では現実問題を含んだ暗の舞踊、戦争など、現在も起こり続けている問題を描いたバレエを元に展覧会をつくっていきます。



『節分祭』 2023、和紙、墨、金箔、岩絵の具

今年2月2日と2月3日に八坂神社で行われた節分祭での舞踊奉納を取材して描きました。  
4花街の舞妓が舞ったあと、邪気払いとして豆まきが行われます。  
この作品では祇園甲部の舞妓が踊った松尽くし(まつづくし)という  
おめでたい数え唄の演目を描きました。



『獅子舞』 2022、和紙、墨、岩絵具、  
六斎念佛踊りをモチーフにしています。  
竹の前で踊る獅子舞です。竹は母が描きました。合作になります。



『神前さるまわし』 2023、和紙、岩絵具、墨、胡粉

太鼓や鉦(かね)を打ち念佛を唱える念佛踊(ねんぶつおどり)が各地にわたり、京都でも六斎念佛踊りとして各地域に残っています。直接取材し、その一つである桂六斎念佛踊りの演目の『さるまわし太鼓』をモチーフに描きました。能舞台の鏡板の前で踊るように、背景の老松を母(猪熊佳子)が描き、さるの踊りを私が描きました。母娘の合作になっています。